

はじめに

吉野町では、子育て世代の仕事と子育ての両立を支援するため、2つの認定こども園を平成27年4月より開園し、教育・保育を進めてきました。しかし、共働き家庭の増加や町の施策による保育料無償化により子どもの保育に対する需要が増加し、また、令和4年度に小中一貫教育校吉野さくら学園が開校し、園小連携の形が変化したこともあって、幼稚園型認定こども園であるわかばこども園の園児数が加速的に減少し、幼保連携型認定こども園のよしのこども園との人数差が顕著になったと考えられます。

この状況を受け令和4年度から、吉野町教育振興審議会において、「吉野町のこども園の将来的なあり方検討」を諮問し、『**幼児期の教育・保育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの**』であること、社会性が著しく発達するこの時期に、同年代の友達との関わりの中で相互に刺激し合い、様々な物事の興味関心を深め、それらに関わる意欲を高めていくためには、一定数の集団の中で学ぶことが必要だという共通認識のもと、3回の審議を経て令和5年2月に「吉野町の認定こども園は、現状の2園体制を維持するより、幼保連携型認定こども園の1園体制に再編することが望ましい」との答申を受けました。

この答申に基づいて令和5年度においては、1園編成に向けた保護者の皆様のニーズを把握し、保育教諭を中心としたこども園部会の開催と教育振興審議会や教育委員会及び総合教育会議において、1園化の再編に向けた吉野町立認定こども園の具体的な方策の検討を進め、次の①～⑤の5つの方向性に添った具体的な方策を提案いたします。

1 吉野町立認定こども園の今後の方向性に添った具体的な方策

方向性①遊びや生活の体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現力を培うために、一定規模の教育・保育の体制を整える。

- ・『未来に向かってたくましく生き抜く力の基礎』を育むために、こども園の教育・保育目標を新たにし、保育教諭・保護者が目指す育むべき子ども像を定める。
- ・子どもが集団活動の中で身につけていく非認知能力を大切に育んでいく。
- ・様々な友達や保育教諭など、身近な人と心を通わせ、物（自然物等）、事（行事等）を通して直接的な経験を重ねる中で、豊かな感性や表現力・思考力を育む。
- ・ふるさと吉野の伝統文化や地域の特性にふれることによる学びを大切にしていく。
- ・子どもたちの生活の場をより豊かに、また安全にするための施設改修を続けていく。
- ・通園バスは運行ルートを増やして運行する。

方向性②よりよいこども園教育・保育の推進を目指し、保育教諭の集約による運営組織体制を充実し、資質向上を図る。

- ・2園の保育教諭を集約して多忙化を解消し、業務にゆとりを生むことを目指す。
- ・研修に参加しやすい体制を整え、保育教諭の資質、園の教育・保育の質の向上を図る。

方向性③一人一人の子どもに寄り添い、特別に配慮が必要な子どもへの支援を図る。

- ・特別に配慮が必要な子どもをはじめ、一人一人の子どもの発達理解と、支援に必要な知識やスキルを獲得し、園全体で質の向上を目指す。
- ・子どもに寄り添う時間を十分に確保する。

方向性④幼児期の学びから児童期の学びへと繋げていくために、こども園と小学校との連携の充実を図る。

- ・園小連携を推進し「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」の実践、見直し・改善を繰り返しながら教育・保育活動を進めていく。
- ・小学校の統合によって変わりつつある連携を整理し、発展的な交流体制を構築する。

方向性⑤地域の特性を活かした取り組みや地域住民や保護者との連携・交流の促進を図る。

- ・保護者同士や地域住民の、交流のためのコミュニティ拠点の一つとなることを進める。
- ・保護者や未就園児保護者の家庭教育向上の場として充実を図る。
- ・より地域と結びつきを強めるため、コミュニティースクールへの参画を目指す。

2 吉野町立認定こども園の教育及び保育の基本

吉野町教育大綱 基本理念 「ふるさと吉野への郷土愛、愛着心あふれるひとづくり」

吉野町学校（園）教育の指導方針 園・小・中における育むべき力
「学び・考え・探求する力」 「個性が輝き、他者と共生する力」
「健康・安全でたくましい心身」 「地域から学び、協働する力」

教育保育理念

すべての子ども達が愛されることを基盤に、

「心豊かに未来に向かってたくましく生きぬく力」の基礎を育む。

- ・乳幼児期にふさわしい生活と遊びを保障する。
- ・一人一人のよさと可能性を伸ばす。
- ・様々な体験を通して『ふるさと吉野』のよさに気づかせる。

教育保育目標

健やかな体と豊かな心を育み、自分らしくいきいきと活動する園児を育成する。

目指す園児像



目指すこども園像

みんなとつながるこども園

- 安全で安心できる園
- 明るく楽しい園
- 保護者や地域とつながり、信頼される園

◎教育保育の理念と目指す園児像

子どもは吉野町の宝であり、希望です。

子どもの人生の主役は、子ども自身です。

子どもは人として尊重され（愛され）、自分の意志で人生を歩み、大人は子どもを人として尊重し（愛し）、子どもの歩みを支える役割を担わなければなりません。

子どもの主体性及び自立性を育む教育及び保育を基本とし、次の **3 つの園児像** の実現を通して、すべての子どもたちが愛されることを基盤に『**心豊かに未来に向かって生き抜く力**』の**基礎**を育みます。

目指す園児像 ☆わくわく のびのび いきいき☆

○健やかでたくましい子ども	「体」	明るくのびのびと行動し、諦めずに最後までやりぬく子ども
○心豊に人と関わる子ども	「徳」	思いやりの心を持ち、様々な人と心を通わせる子ども
○夢中になって遊びよく考える子ども	「知」	興味関心を持ち、目的に向かって工夫したり挑戦したりする子ども

(1) 乳幼児期にふさわしい環境

乳幼児期の子どもは、自分の生活に密着した直接的かつ具体的な体験を通し、「健全な生活を送るために必要な人としての姿勢（基本的な生活習慣）」「人格形成の基礎となる豊かな心」「物事に自ら主体的に関わろうとする前向きな意欲（興味・関心）」などが培われる時期です。

このため、こども園では環境を通して行う教育及び保育を基本とします。

- 子どもが挑戦することができる環境
- 子どもが力を発揮できる環境
- 友達同士で関わり合い、つくり出す活動が体験できる環境
- 自然体験を通した実体験ができる環境
- 身近な人や地域とつながった生活が体験できる環境

(2) 子どもの主体性や自立性「自分になる」過程を尊重した教育及び保育

ア 子どもの主体性や自立性

子どもの主体性や自立性を育む活動は遊びです。遊びは子どもの発達段階に応じて、感性を働かせたり、試したり、比べたり、人と関わる中で不思議な事を発見したり、面白い事に気づくなど、『学び方を学ぶ』活動です。また、乳幼児期に夢中になって遊んだ体験は、小学校以降の『主体

的・対話的で深い学び』に繋がります。

保育教諭は子どもの活動を保障するために、教育的な要素を加えた環境の設定や関わりを行うことを基本としています。(環境としての保育教諭)

保育教諭の関わり方

優先度	関わり方	内 容
1	見守り	直ぐには手を差し伸べず、子どもの葛藤の原因を見極め、いつでも援助できるように注視し、見守る。
2	足場かけ	子どもの思いや意思を確認し、状況を整理・確認のうえ、解決策への見通しがもてる援助を行う。(解決策の方向付けはしない)
3	省察・うながし	「どうしたらいいのかな?」「どうなっているんだうね」等質問し、子ども自身、または友達同士で考えるように仕向ける。
4	誘 導	問題の解決を促すヒントを出す。子どもが状況を理解できるような言葉かけを行う。
5	教 導	解説や説明を行い、答えを教える。

イ「自分になる」過程

子どもの発達の姿は、家庭環境や生活経験の違いなどから発達の歩みは一様ではありません。こども園は異年齢の子どもが集団生活する場ですが、子どもがゆっくりと「自分になる」過程を尊重し、一人一人の発達に配慮した生活ができる環境をつくることを基本とします。

◎教育保育目標

健やかな体と豊かな心を育み、自分らしくいきいきと活動する園児を育成する。

乳幼児期の教育及び保育は、人の人生にわたる人格形成の礎をつくるものです。

価値観の多様化、時代の移り変わりのスピードの変化など、子どもがこれからの世界で生きのびるためには、今まで以上に人として生きる力をつけていく必要があると考えます。

こども園では生活や遊びを通した豊かな体験、さまざまな人との関わりを通し、次の『5つの領域』とねらいが相互に関連した活動を総合的に実践することで、人としての礎を育み『幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿』につなげていきます。

=5 領域=

ア 健康

健やかな心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだす力を養う。

イ 人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。

ウ 環境

周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れようとする力を養う。

エ 言葉

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に関する感覚や言葉で表現する力を養う。

オ 表現

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

=幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿=

ア健康な心と体 イ自立心 ウ協同性 エ道徳性・規範意識の芽生え
オ社会生活との関わり カ思考能力の芽生え キ自然との関わり・生命尊重
ク数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ言葉による伝え合い
コ豊かな感性と表現

〈特に礎として育みたい力〉

① 基本的な生活習慣

子どもは保護者や保育教諭など特定の大人との愛着関係を通し、食事・排泄や睡眠などの生活リズムを身に付けます。こども園では保護者と保育教諭の連携のもと、大人のめいっばいの愛情と子どもとの信頼関係を通し、子どもにふさわしい生活習慣を育みます。

② 自己肯定感

子どもは「自分は愛されている」、「自分はやればできる」ということを実感し、自己肯定感が生まれます。こども園の保育教諭はいつでも子どもに愛情をもって適切な援助をすることや、子どもが自分の力を試しながら、主体的に活動に挑戦できる環境の設定を通して、自己肯定感のある人を育てます。

③ 非認知能力

人の能力には、IQ や学力のように数値化できる「認知能力」と前向きな意欲、自尊心、自制心、勤勉性、協調性などのように数値化が適さない「非認知能力」があります。非認知能力は乳幼児期から小学校低学年に特に大きく発達します。人の学びの基礎となる能力で、健康、体力、心、学力など、生涯にわたり大きな影響を及ぼすことがわかっています。こども園では非認知能力を育むことを意識しています。

④ 人と関わる力

子どもが集団生活する環境は、少子化により家庭や地域で子どもが少なくなった現在においては貴重です。子ども同士で「学びあい」「助け合い」時には「ぶつかり合い」をする体験や様々な人との関わりを通し、人と関わる楽しさ、葛藤、挫折感などを経験することで「相手の気持ちを思いやる力」「相手に言葉で伝える力」「相手の話を聞き、言葉を理解する力」が育まれていきます。こども園では、子ども同士の関わり、保育教諭との関わり、地域の人との関わりを通し、人と関わる力を育みます。

家庭や地域と共に育みます

こども園の教育及び保育は、家庭や地域の人々の理解や協力があってその目標が達成されます。こども園では教育及び保育の考え方、日々の子どもの生活など家庭や地域社会の理解と協力が得られるよう情報を発信し、家庭や地域の人々と連携しながら教育及び保育を行います。

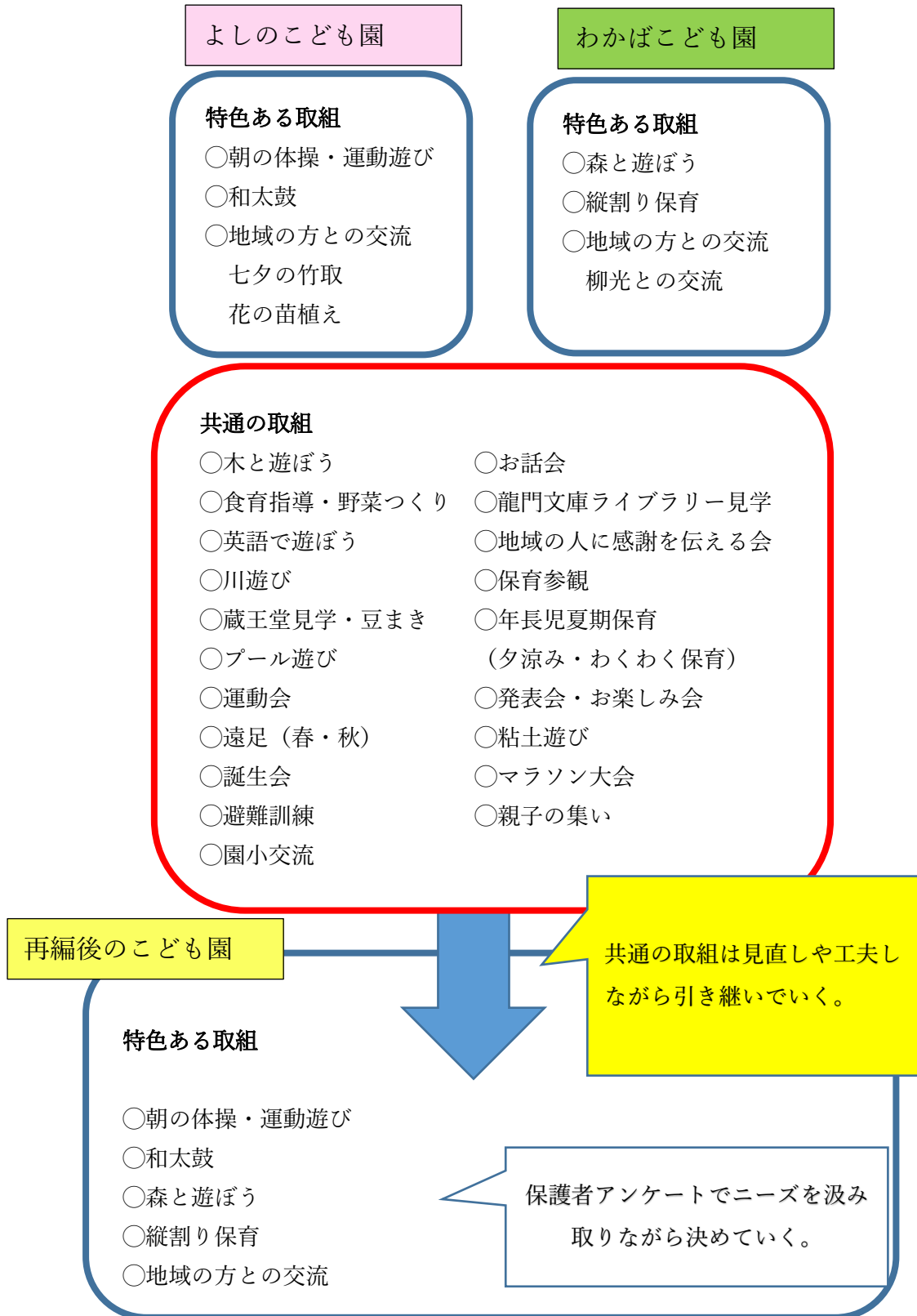
◎目指すこども園像

みんなとつながるこども園

- 安全で安心できる園
- 明るく楽しい園
- 保護者や地域とつながり信頼される園

3 吉野町立認定こども園の教育及び保育の内容等

◎特色ある教育保育内容



◎諸費・制服・教材・園名等の検討

項目	よしのこども園	わかばこども園	再編成後のこども園
諸費	育友会費 500円 教材費 300円 絵本代 420円 計 1,220円	育友会費 600円 教材費 300円 絵本代 420円 計 1,320円	育友会費 500円 教材費 400円 絵本代 420円 <u>計 1,320円</u>
制服	制服 夏 3,520円 冬 5,600円 制帽 3,210円 麦わら帽子 2,850円 体操服長袖 2,280円 半袖 1,970円 半ズボン 1,670円 給食エプロン 1,690円 カラー帽子 920円 通園リュック 3,380円 ☆クッション 1,110円 ☆防災頭巾 2,100円 ※制服バンク有 ☆希望者のみ 計 30,300円	制服 夏 2,570円 冬 5,030円 制帽 1,310円 体操服長袖 2,280円 半袖 1,970円 半ズボン 1,670円 カラー帽子 920円 通園リュック 2,930円 ☆クッション 1,110円 計 19,790円	制服 冬 5,600円 (5,030円) カラー帽子 920円 体操服長袖 2,280円 半袖 1,970円 半ズボン 1,670円 通園リュック 3,380円 (2,930円) 給食エプロン 1,690円 ☆クッション 1,110円 ※制服バンク有 防災頭巾は園で常備 ☆希望者のみ <u>計 18,620円</u>

新学期用品 教材等	出席ブック	430円	出席ブック	430円	出席ブック	430円
	シール	260円	シール	260円	シール	260円
	連絡ノート	170円	名札	150円	連絡ノート	170円
	名札	170円	手提げかばん	430円	名札	170円
	手提げかばん	430円	道具箱	750円	手提げかばん	430円
	道具箱	750円	クレパス	750円	道具箱	750円
	マーカー	600円	ハサミ	580円	マーカー	600円
	クレパス	610円	ノリ	170円	クレパス	610円
	ハサミ	580円	諸費袋	80円	ハサミ	580円
	ノリ	170円	氏名印	150円	ノリ	170円
	自由画帳	200円	お便り袋	330円	自由画帳	200円
	諸費袋	80円			諸費袋	80円
	氏名印	150円			氏名印	150円
	お便り袋	330円			お便り袋	330円
計	4,930円	計	4,080円	計	4,930円	
通園方法	登園 園バス2台 (19名) 降園 園バス1台 (5名) 個人送迎 登園29名降園43名	登園 園バス2台 (7名) 降園 園バス1台 (6名) 個人送迎 登園4名降園5名	登園 園バス4台 (約42名) 降園 園バス 台 未定 (約12名) 個人送迎 登園10名降園40名			
園名	よしのこども園	わかばこども園	よしのこども園			
園旗	有	有	新しい園旗			

4 保護者のニーズ

吉野町内に居住する（こども園に在籍する町外園児を含む）平成 29 年 4 月 2 日～令和 5 年 5 月 20 日生まれの子ども（0 歳児～5 歳児）をもつ保護者等アンケート調査を行った結果です。

○アンケート実施期間：5 月 26 日（金）～6 月 9 日（金）

○対象者：

対象者数

提出者数

回収率

○よしのこども園保護者 52 名 園から配付・回収 47 名 90.3%

○わかばこども園保護者 9 名 園から配付・回収 9 名 100.0%

○町外保育施設に通園する保護者 7 名・・・郵送 } 11 名 52.3%

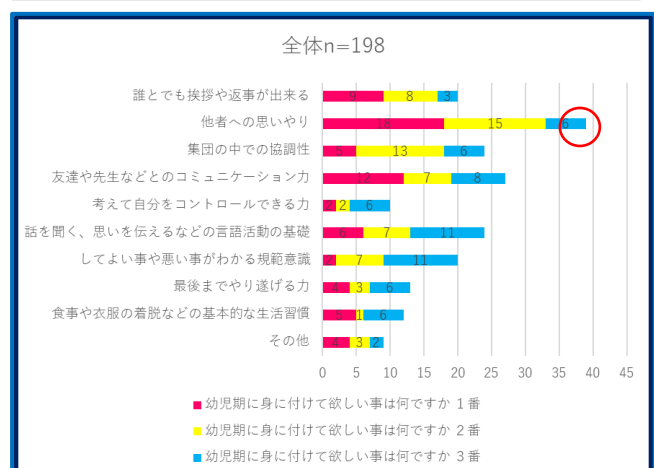
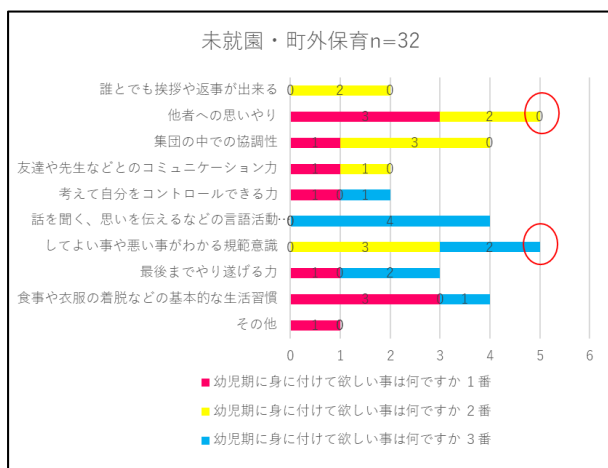
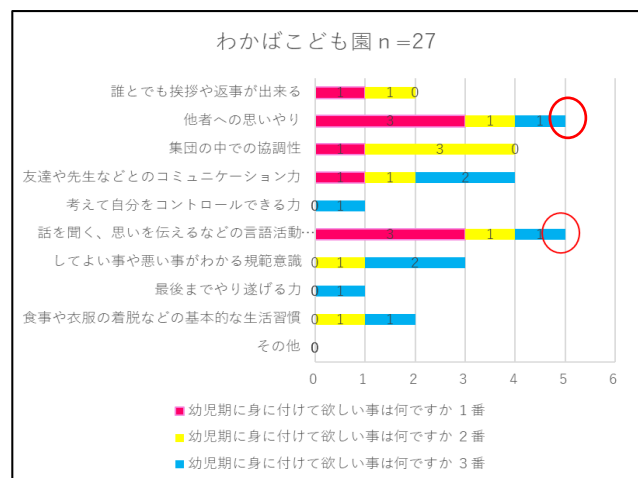
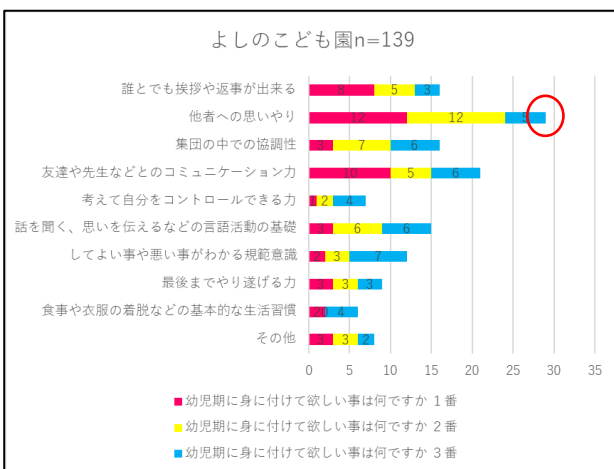
○未就園児の保護者 14 名・・・郵送 }

合 計

82 名

67 名 81.7%

① 幼児期に特に身に付けてほしいことは何ですか。

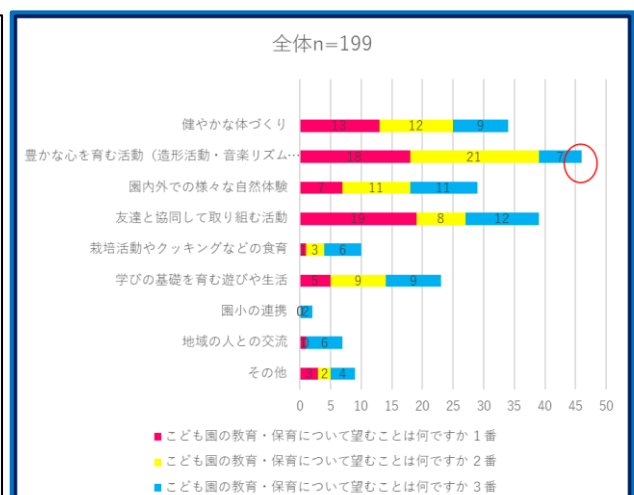
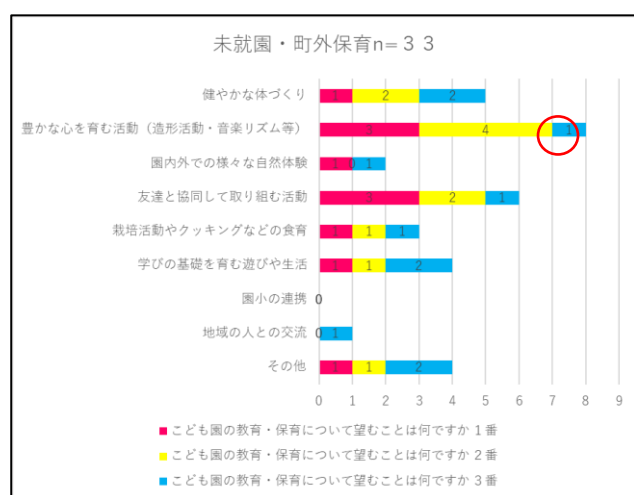
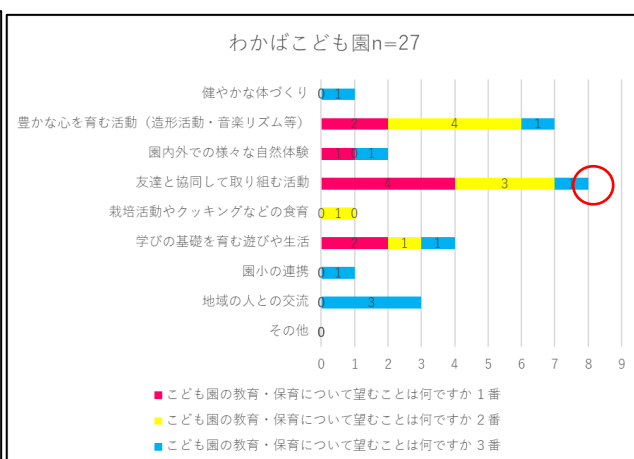
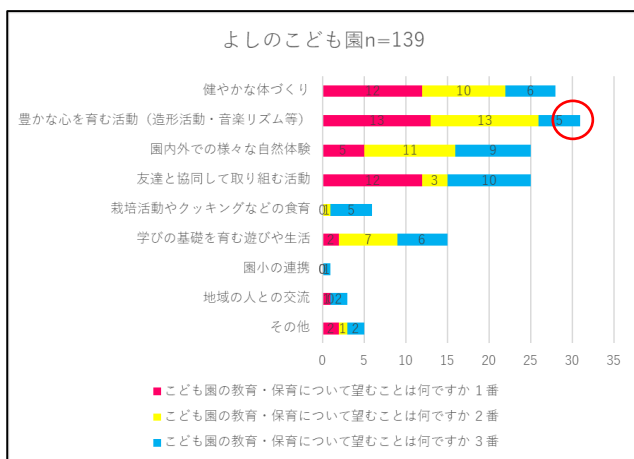


よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者が1番に同じ項目「他者への思いやり」を選んでいる。よしのこども園、わかばこども園の保護者は2番3番も前後はするがほぼ同じ項目を選んでいる。

全体として①「他者への思いやり」②「先生や友達などとのコミュニケーション力」③「集団の中での協調性」「話を聞く、思いを伝えるなどの言語活動の基礎」の順になっている。多くの保護者が集団生活の中で、人と関わる力を身に付けて欲しいと望んでいることがわかる。

その他では、自己肯定感・自分の好きな事を見つけて没頭する力・基礎体力・脳と体の協調性・自分で考える力・指示によってではなく、子どもが主体的に考え行動する力・アート、遊び、音楽（主体的な）を通して得られる好奇心・言語のみでなく表情や身振り手振り、あらゆる方法を使って自分の気持ちを表す力が大切だという意見を頂いた。

②こども園の教育・保育について望むことは何ですか。

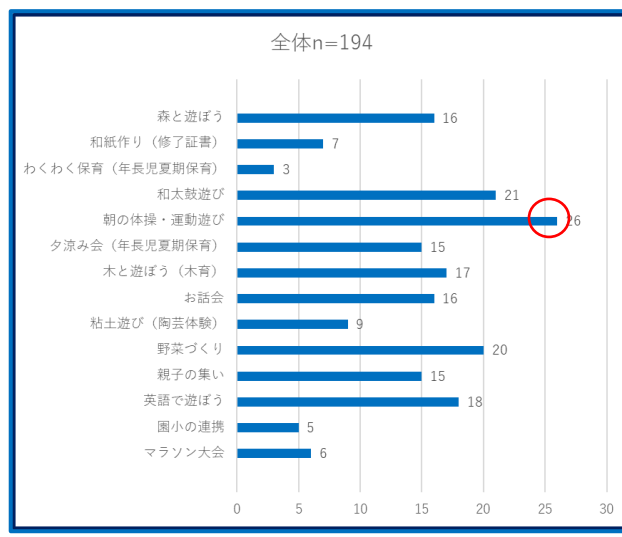
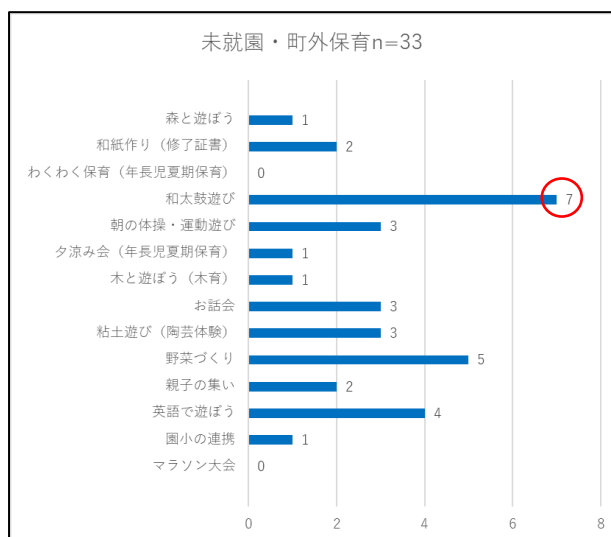
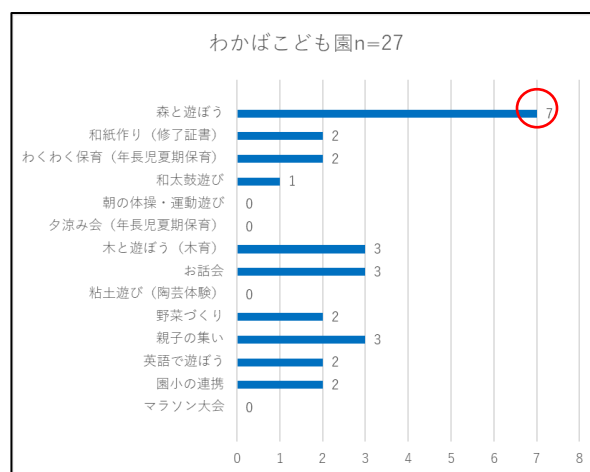
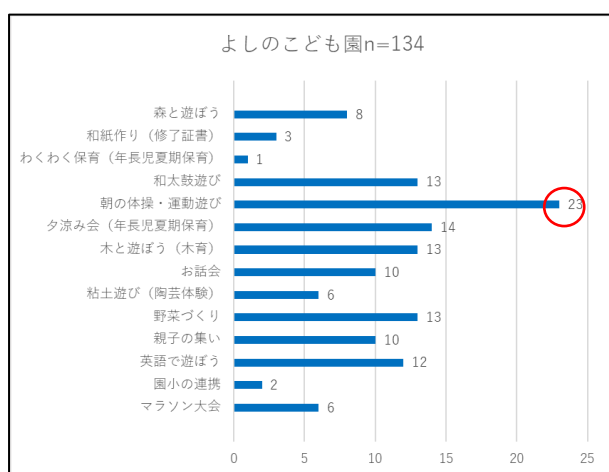


よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者が上位にほぼ同じ項目を選んでいる。

全体として①「豊かな心を育む活動（造形活動・音楽リズム等）」②「友だちと協同して取り組む活動」③「健やかな体づくり」④「園内外での様々な自然体験」の順になっている。1園化後の新しいこども園の教育・保育内容に積極的に反映していきたい。

その他では、教師の指示を減らし、子供が主体的にしたいことを見つけるまで見守りサポートすること・健やかな体づくりを、子供の能力の競争や比べる事ではなく、運動することの喜びを育むことが大切だという意見をいただいた。

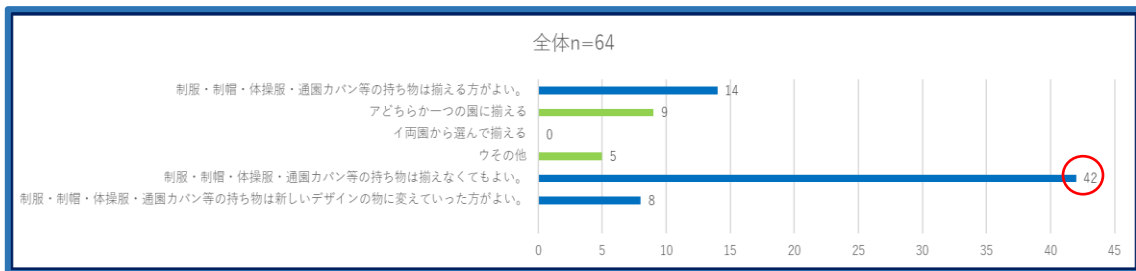
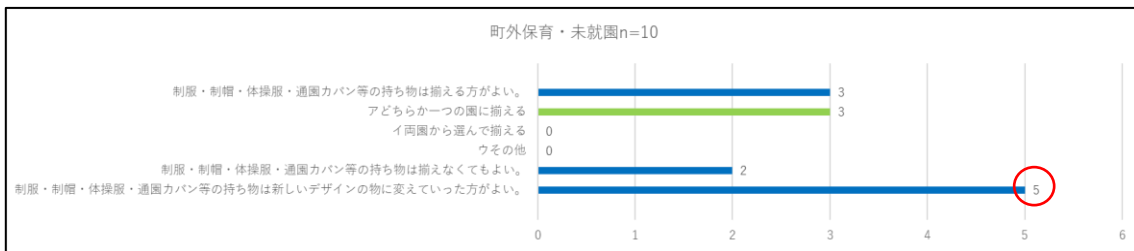
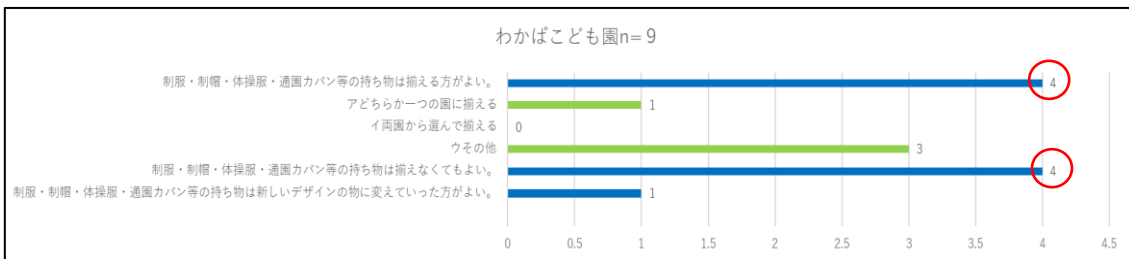
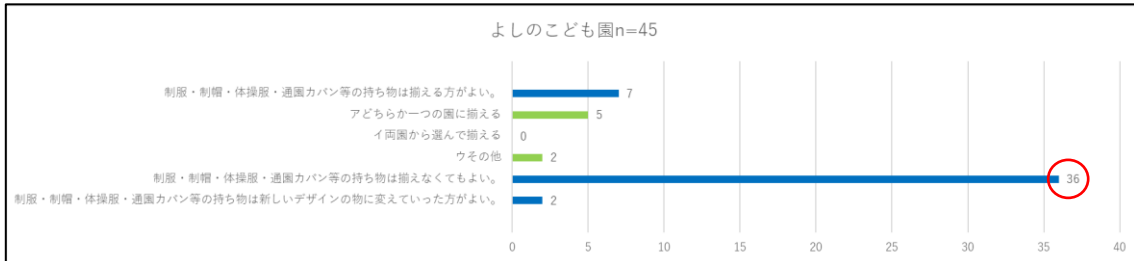
③両こども園の特色ある教育・保育の中で継続すべき具体的な内容は何か。



よしのこども園・わかばこども園の保護者は自園の特色ある取組の行事を選んでいるが、園児数が違うので、数の多い少ないに重きを置いて選んでいくものではない。全体として①「朝の体操・運動遊び」②「和太鼓」③「野菜づくり」その他「英語で遊ぼう」「木と遊ぼう」「森と遊ぼう」「お話会」「年長夏期保育」「親子のつどい」など、保護者の思いと園の先生方の考えを出し合って、子どもたちの成長にとって必要な経験を豊かなものにして

いくために、両こども園の取組を再度見つめ直すと共に、新しい園の実態に合わせた取組にしていく。

④町内2園のこども園では制服・制帽・体操服・通園カバンは異なる物を使用しています。保護者の皆様のご意見を聞かせてください。

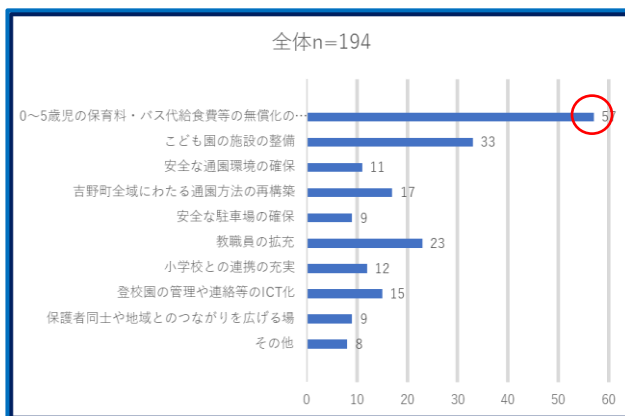
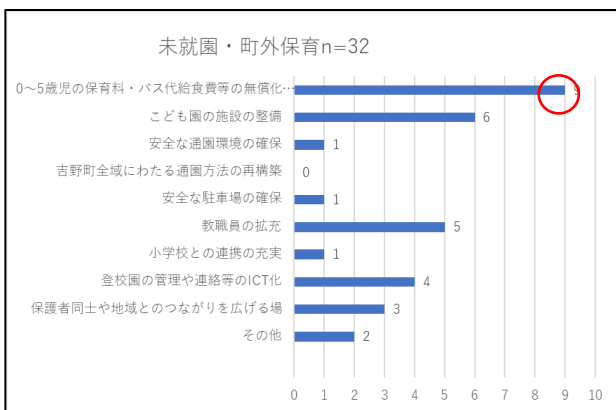
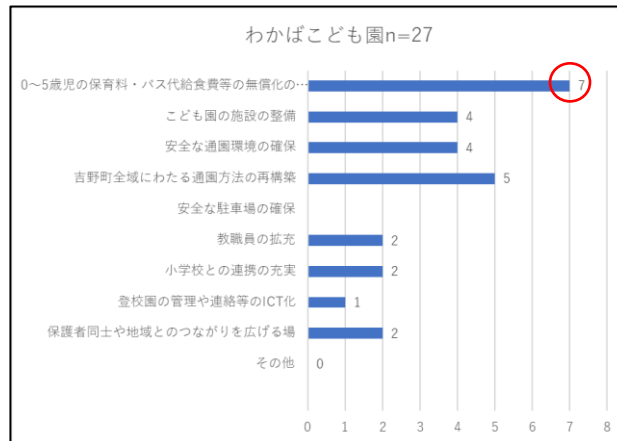
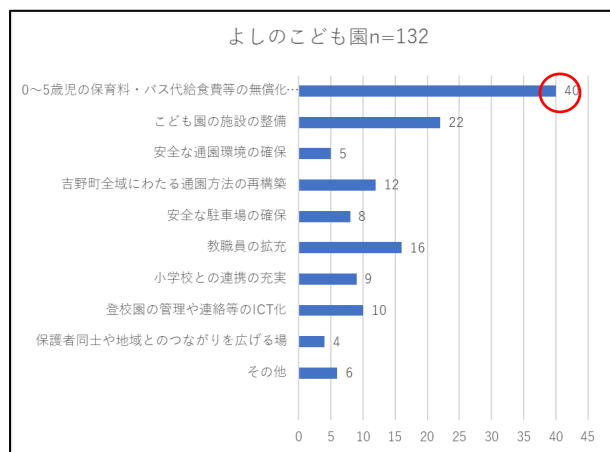


よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者とも「揃えなくても良い」という意見が多かった。自由記述にもたくさんの意見を頂いている。

1園化後、バラバラのままで生活するのは、子どもたちや保護者の一体感を高められないと考える。揃えるもの・新しく入る園児から揃っていくもの、なくしていくもの等、園の先生方や保護者の意見を伺いながら保護者負担が少ないように決めていく。

その他として、在園児はそのまま混ざっていても良い・1園化後新入園する子達から揃えていく・最初は揃えなくても良い・買い替えのタイミングで揃えていく・制服は必要ない等の意見を伺った。

⑤吉野町や教育委員会に希望することは何ですか。



よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者は上位に同じ項目「0～5歳児の保育料・バス代給食費等の無償化」を選んでいる。

全体としては①「0～5歳児の保育料・バス代給食費等の無償化」②「こども園の施設整備」③「教職員の拡充」④「吉野町全域にわたる通園方法の再構築」という意見が多かった。1園化の具体的な方策の決定に積極的に反映していく。

その他として、こども園の環境整備（施設だけではなく、教育環境などすべて）・入園式等の映像のクオリティ改善・教職員・保護者・その他子どもに関わる全ての人（病院のドクター・療育の先生・地域の人等）との連携・子どもの自主性を信じて見守るための教職員の研修・先生の処遇改善・一クラスあたりの先生を増やす・入園時に必要な制服や体操服、通園カバン等の無償化・吉野でしか体験できないこども園の構築、園舎、カリキュラム、食事等のご意見を頂いた。

⑥ その他のご意見・要望（自由記述）

《通園バスについて》

- 1園化するなら通園バスを全域にして欲しい。
- 長期休みの間、朝バスを出して欲しい。
- 長期休暇中も朝だけでもよいので、バスの運行をして欲しい。2号認定児も利用できる夕方便を運行してもらえると有難い。
- よしのこども園へわかばこども園の子達が行くとなると通園時間や子どもへの負担が気になる。
- 延長保育後、飯貝まで迎えに行くのが特に冬場が辛い。延長保育後も時間を決めて送ってもらいたい。
- 1園化後ルートが増える訳なので、効率的ルートとして、減便長時間乗車になるようなことは避けて欲しい。季節により通園ルートの順番を逆にするなどの工夫を期待する。

《制服について》

- 在園児に関しては、再購入は望ましくない。R6新入園児より揃えていけばよい。移行期間を設けるべき。
- 高価な制服は必要ない。制服を導入するのであれば町に支援をしてほしい。制服バンクのあるよしのこども園は助かっているが、バンク制度がないわかばこども園は大変そうだ。
- 制服が変わった場合、在園児は町から配布してもらえるのか。
- 1園化する場合は制服等も統一する方がいいと考える。違う制服が混在することを子どもは敏感に感じ取る。また、子どもの中でグループ分けすることも場合によっては起こり得る。統一するのであれば、保護者の経済的な負担がないよう町からの補助等検討して欲しい。
- 出来るだけ家計の負担にならないようにして欲しい。
- 上の子が使用した制服等を下の子が入園する時のため保管している。制服体操服等必要な物品は町の補助で無償化にして欲しい。
- 一式揃えるとなると出費が多くなるので、簡素化してはどうか。私服で登園してスモックを着るなどでもよいのではないかと思う。体操服に着替えるのであれば制服は必要ないのではないか。

《行事について》

- コロナで様々な行事や習慣を見直すことになった。元に戻すのではなく、新たな手法・形等を模索すべきだと思う。育友会の在り方、運動会のやり方等々より多くの方が納得する方法をみんなで考えるべきだと思う。今まで当たり前にしてきたことが当たり前でないことに気づいたので、今が変わる時だと思う。
- 年長児の夏期保育は是非やって欲しい。
- 節分はみんなの健康を願う日である。鬼を使って指示を聞かせる方法は、子どものトラウマにもなり、成長するに従って暴力的力の度合いがエスカレートする。鬼を使うにしても子どもが怖がらないようにする。○○しないと警察が来る、○○が起きるなど脅しや取引の保育をしないようにする。
- 遊戯会での出し物について教師が決めた演目を練習するのではなく、日々子どもが行ってきたことを発表する場にしてはどうか。
- 朝の体操は、見本によって行う体操ではなく、精神や体をリラックスし統合することを目的とし、子供が自発的に体を動かしたくなるような環境を設定する。POP ダンスミュージックのような音楽をかけない。遊びの時間も POP ミュージックのようなBGMをかけない方が精神衛生上よいのではないか。
- 木と遊ぼうは木の町吉野の環境を生かした体験が生み出されるとよいと思う。木育とは何かを定義し、子供が本物の木に触れ楽しむ機会を提供する。
- 親子の集いは季節ごとに4回ほどあればいい。イベントをするのではなく、集まってるんびりと過ごしピクニックをするなどの時間で充分。
- わかばこども園ならではの、少人数だからできる『森と遊ぼう』は子ども達が大変喜んで参加していたし、自然の中で思いっきり活動できる良い機会なので継続して欲しい。(川遊びも) 卒園アルバムはわかばは親の手づくりだが、合併後どうなるのか教えて欲しい。(年少の分は作成したので)
- 地域住民や保護者との連携・交流を図るという方策があるが、よしのこども園の入園希望者が増加傾向にあるということは、働いている保護者が増えているのであって、そのような背景では地域住民と保護者の連携は図れるのだろうか。わかばこども園の周辺住民とふれあう機会(森と遊ぼう・老人ホーム)も考慮して、統合後の在り方を検討して欲しい。
- 英語で遊ぼうについて、なぜ月1回なのか。月1回だと覚えたことも忘れてしまう。出来れば毎日、週1回少しの時間でもいいのでやるべきだと思う。園小連携を謳うならば小学校英語の土台となるような取組にすべきではないか。

- Q5 について、未就園児や他の保育施設に通っている保護者にとって、取組内容や頻度が分からない。それらの資料を添付して欲しかった。未就園の親でも園での活動がわかるようホームページ等で周知して欲しい。

《人的配置について》

- 1 園化するとはいえ、都会に比べれば人数は少ないので、細やかな保育をしてくれると思う。両園の先生が集えば国の基準より先生の数が多くなると思うので有難い。吉野という田舎ならではの経験を子ども達にさせてもらいたい。
- 加配や外国籍の子ども達が増えている中、先生方の負担が明らかに増えていると感じる。配置基準を見直してもらえると安心だと思う。子育て経験者、大学生（福祉・医療系）地域の若者等保育補助に雇用してはどうか。
- 1 園化後も両園の先生に引き続き保育をしてもらいたい。今わかばは3人の園児を一人の先生が見てくれている。そのような体制はどの様になるのか。
- わかばこども園では十分に園児に向き合う時間があるが、よしのこども園では大人数で業務が多く、少なくなるように感じる。こども園の1園化により、数多くの同世代の園児と触れ合うことが子どもの成長に繋がることも理解できるが、緩やかに成長しているわが子にとって急な環境の変化に戸惑いを覚える。統合により一人一人の園児に向き合う時間が十分とれるよう、クラス編成や先生の配置等の工夫や保護者の意見を加えて欲しい。
- 吉野町教育振興審議会の資料を見て、先生たちの時間や気持ちに余裕がないと見受けられる。それでは子ども達を安心して預けられないし、充実したこども園生活が送れないのではないかと危惧している。

《園舎について》

- 2 園が統合することは基本的に賛成です。まずは統合して数年かけて園を別の場所に新設してはどうか。今のよしのこども園は50年以上経っているのではないかと、トイレ等新しくなったが、つぎはぎで改修するのではなく、耐震も考慮された建物で子ども達を災害から守ってあげることが必要。今の建物では不安である。費用の事もあるが、是非検討して欲しい。
- かけあしで1園化に進んでいるように思う。1園化自体は賛成だが、園舎について未定のまま進んでいることに不安を感じる。災害が起きた時本当に今の園舎で大丈夫なの

か？（避難が難しい乳幼児がいるので）今の時代に合った衛生的且つ、安全な場所に整備してから1園化を進めていく方が良い。

- 次世代の設計思考に則った施設の設計整備を行う。
- 築46年経過しているよしのこども園を整備・改修ではなく、建て直しすることで全て改善するのではないか。園舎中身の充実によって子ども達も過ごしやすい、教職員も働きやすいものになり、入園希望の園児の増加保育や教諭の確保に繋がるのではないだろうか。
- 園庭から全クラスが見えるような園舎にし、3・4・5歳児の活動を0・1・2歳児が廊下から見えるようにする。
- 施設については老朽化や教職員からの死角になる箇所があるのは不安である。園で使用しているおもちゃについて劣化や壊れたものが見受けられる。早急に対応して欲しい。
- 旧吉野北小学校を再利用してこども園にできたらいいと、ママ達の話題になっています。
- 小さな子ども同士が気軽に遊ぶことが出来る環境をつくって欲しい。

《その他のご意見》

- 進級と1園化が同時になれば子どもたちの不安や期待が大きいかと思う。メンタル面でのサポートをお願いします。
- 年齢ごとの「組」での保育よりも、年少・年中・年長が普段から一緒に保育できるような環境を望む。
- 無償化を継続するには財政負担が大きい。せめて給食代、バス代だけでも保護者に負担してもらってはどうか。
- 写真は印刷物を買うのではなく、デジタルで配布・ダウンロードできるようにして、印刷物を買いたい人は買うようにしておくのがよい。
- ネットワークサービスを導入し、園と関係者、保護者のコミュニケーションを促進する。
- 挨拶は決まった文言を繰り返し言わせるのではなく、教師や親が子どもに挨拶し続けることで自発的にするようになるのを待てばいいと思う。
- よしのこども園では様々なカリキュラムがある。もう少しゆったりと時間をもちカリキュラムや要素を減らし、子どもが何かを自発的に行いたくなるような余白を増やしても良いのではないか。言われたことに従いこなす力ではなく、まずは5感の土台を耕し、

感覚を統合するような遊びを通じて友達と関わり、社会性を身に付ける時間がもう少し増えればと考えている。

- 3歳児クラスになると、4・5歳児と一緒に活動する時間が増えるのに午睡の時間が短い。就学前までは休息の時間が必要な年齢ではないか。
- 吉野町は習い事をする場所や小中学校のクラブ活動の種類が少ないと聞いている。子どもたちが何かをやりたい、始めたいとなるきっかけをこども園で多く取り入れて欲しい。(体育指導・絵画指導・硬筆指導等)
- 全国的に保育教諭不足だが、いったん子育てで退職し、復職したくても勤務時間の問題で復帰できない人が多いと思う。そういう人が働きやすい勤務時間で募集をしてはどうか。
- 急遽来年度から1園化されると聞いた。もう少し早く保護者アンケートなりを取って欲しかった。
- 園同士の交流会(子ども同士)があればいいと思う。園が変わり関わる友達も違ってくると不安になる子もいるのではないか。不安要素を少しでもなくしてあげて欲しい。
- 新たな園を開園するのは大変難しい事もたくさんあると思うが、携わってくださる方々、職員や先生方、園児達、みんなの心が穏やかで明るい園生活を送ることが出来ることを願っている。保護者地域の方々にも参加していただき、心に残る閉園式があればいいと思う。
- 1園化に向けては保護者への説明だけでなく、意見を受け止め協議する場を設けて時間をかけて進めて欲しい。園児同士や保護者同士の交流など、統合になるまでに機会を設けて欲しい。よしのこども園のグランドデザインがどのように変わるのか説明して欲しい。
- こども園の無償化は有難いが、そのことで予算が少なくなっているのであればいかなものか。教職員を充実させ、玩具や設備を整備することは、安心安全で充実した園生活を送るために不可欠である。予算を増やすことを検討し、それが難しいようだったら無償化にこだわらず、保護者から月謝を徴収することを考える必要があるのではないか。
- こども園の先生方にお世話になっている。先生達がこれからもずっと仕事をしたいと思うような園づくりをして欲しい。
- 保育料無償化は子育て世代にとって嬉しい。
- おやつについて、低年齢児にチョコレートが入っている物やアレルギーの可能性がかっぱえびせんが出されていることに不安や疑問を感じる。田舎で少人数の保育ならこそ、食育に力を入れてもらえると安心して通わせることができる。

◆幼児期に特に身に付けてほしいことは何ですか。

よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者が1番に同じ項目を選んでいる。保護者が重要だと思うことは以下の通り、

- ◎「他者への思いやり」
- 「先生や友達などとのコミュニケーション力」
- 「集団の中での協調性」
- 「話を聞く、思いを伝えるなどの言語活動の基礎」

多くの保護者が集団生活の中で、人と関わる力を身に付けて欲しいと望んでいることがわかる。

◆こども園の教育・保育について望むことは何ですか。

よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者が上位にほぼ同じ項目を選んでいる。保護者が重要だと思うことは以下の通り、

- ◎「豊かな心を育む活動（造形活動・音楽リズム等）」
- 「友だちと協同して取り組む活動」
- 「健やかな体づくり」
- 「園内外での様々な自然体験」

1園化後の新しいこども園の教育・保育内容に積極的に反映すべきである。

◆両こども園の特色ある教育・保育の中で継続すべき具体的な内容は何か。

よしのこども園・わかばこども園の保護者は自園の特色ある取組の行事を選んでいる。

- ◎「朝の体操・運動遊び」
- 「和太鼓」
- 「野菜づくり」
- 「英語で遊ぼう」「木と遊ぼう」「森と遊ぼう」「お話し会」「年長夏期保育」「親子のつどい」等

園児数が違うので、数の多い少ないに重きを置いて選んでいくものではない。

保護者の思いと園の先生方の考えを出し合って、子どもたちの成長にとって必要な経験を豊かなものにしていくために、両こども園の取組を再度見つめ直すとともに、新しい園の実態に合わせた取組にしていく。

◆町内2園のこども園では制服・制帽・体操服・通園カバンは異なる物を使用しています。保護者の皆様のご意見を聞かせてください。

よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者の意見は以下の通り

- ◎揃えなくても良い
- そろえるほうが良い（どちらか一つの園に揃える）

1園化後、バラバラのまま生活するのは、子どもたちや保護者の一体感を高められないと考える。揃えるもの・新しく入る園児から揃っていくもの、なくしていくもの等、園の先生方や保護者の意見を伺いながら保護者負担が少ないように決めていく。

◆吉野町や教育委員会に希望することは何ですか。

よしのこども園、わかばこども園、未就園・町外保育園の保護者の意見は以下の通り

◎「0～5歳児の保育料・バス代給食費等の無償化」

○「こども園の施設整備」

○「教職員の拡充」

○「吉野町全域にわたる通園方法の再構築」

1園化の具体的な方策の決定に積極的に反映していく。

◆その他の意見（自由記述）

たくさんの意見を頂いた中で、通園バス・制服・行事・人的配置・園舎・その他と大きく6つに分けられる。

○〈通園バスについて〉

町内全域にわたっての運行や、ルートの工夫、長期休業中の運行の希望があった。

○〈制服について〉

一斉に揃えなくても新入園児から揃えたらよい、制服を統一する場合は保護者負担がないようにしてほしい、制服は必要ない等様々な意見があった。

○〈行事について〉

継続してほしい行事、今ある行事のあり方等具体的な意見をたくさんいただいた。

○〈人的配置について〉

1園化によって保育教諭の十分な配置を望む意見があり、保育教諭に余裕が出ることが園児や保護者の安心、保育教諭の質の向上につながる等の意見を頂いた。

○〈園舎について〉

よしのこども園舎の老朽化への不安や、今後の計画、望ましい園舎のあり方についての提案も頂いた。

○〈その他〉

一園化の進め方や新しい園になる前、なった後の子どもたちの心のケア、登園管理や写真の販売、カリキュラムやおやつ等の園運営の在り方についての意見を頂いた。

おわりに

吉野町教育振興審議会は、全ての委員が、吉野町の子どもたちの健やかな成長を願い、令和4年10月から令和5年8月までの間に6回の会議で検討を行い、これからの吉野町立認定こども園のあり方について慎重に検討を重ね、令和5年2月末にはあり方の『答申』を、8月末には『具体的な方策』をお示しすることになりました。

吉野町立認定こども園のあり方検討にあたっては、2つの吉野町立認定こども園を取り巻く現状や課題を理解したうえで、町立認定こども園の教育・保育内容の更なる充実や、よりよい教育・保育環境の創出を目指して論議を重ねてきました。

この答申に基づいて行った1園編成に向けた保護者アンケート調査からは、多くの保護者が、乳幼児期に集団生活の中で『他者への思いやり』や『人と関わる力』を身につけてほしいと願っていることが分かりました。また、保育教諭を中心としたこども園部会では、変わりゆく社会の中で、未来に向かってたくましく生き抜く力の基礎を身につけるために、一定規模の集団の中での友達との遊びや保育教諭をはじめ保護者や地域の方との関わりの中で育むべきと考えています。

これらのことを踏まえ、吉野町教育振興審議会では、1園化により保育教諭を集約することで、多くの目で子どもを見守ることができ、一人一人の良さを引き出すことができることや、保育教諭が様々な子どもに関わる姿から関わり方を学び、コミュニケーション力を高めていくこと、子ども同士の予測できない関わりの中で経験する葛藤や挫折などを通して、折り合いをつける力や多様性を受け入れる力、自分の気持ちをコントロールする力や夢中になって取り組む力、そして自分を信じていることができる力などの非認知能力を、最も大きく伸ばすことの出来るこの時期にしっかり育むことが、その先の人生の可能性を左右し『幼児期の教育・保育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの』であることを再確認しました。

そのうえで、もう少し時間をかけて1園化に向かいたいと願っている保護者の思いや、少人数から大人数のところに移ることへの不安も十分に理解しながら、子どもたちの最善の利益のために、令和6年4月によしのこども園において1園化すべきと考えました。

吉野町立認定こども園に通う園児を含む、全ての子どもが、吉野町や日本のこれからの担うことのできる人材に成長することを願って、最良の結果を模索し導き出したのが『具体的な方策』となります。

方策の実現に向けては様々な困難も予想されますが、吉野町教育委員会におかれましてはこれらの内容を十分検討し、早期に具体化されますことをお願いいたします。

令和5年8月

吉野町教育振興審議会一同

《参考資料》

○令和5年度吉野町教育振興審議会委員名簿

	氏 名	役 職	構 成	備 考
1	奥田 智	日本大学経済学部教授	学識経験者	会長
2	杉村 智子	帝塚山大学教育学部子ども教育学科教授	学識経験者	
3	吉寄 純子	教育支援団体代表	学識経験者	
4	辻倉 史子	奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課指導主事	公共的団体	
5	田中 寿賢	さくら学園PTA代表	公共的団体	
6	大矢 貴司	よしのこども園育友会会長	公共的団体	副会長
7	岩見 賢太	わかばこども園育友会会長	公共的団体	
8	福田 富夫	吉野町区長連合会会長	公共的団体	
9	東平 利次	吉野町主任児童委員代表	公共的団体	
10	吉中 久実	吉野小中学校 校長	関係行政機関	
11	山田 真路	吉野小学校 教頭	関係行政機関	
12	森本 展代	よしのこども園 園長	関係行政機関	
13	中山 智美	わかばこども園 園長	関係行政機関	

○検討経過

吉野町教育振興審議会

第4回 教育振興審議会 令和5年5月19日（金）

- 委員委嘱
- R5年度の計画について
- こども園の具体的な方策について
- 保護者アンケート（案）について
 - ・内容検討

第5回 教育振興審議会 令和5年7月28日（金）

- 保護者アンケート結果について（報告）
- こども園の具体的な方策について
 - ・吉野町認定こども園の今後の方向性を実現していくための『具体的な方策』
 - ・吉野町認定こども園の教育及び保育の基本（案）
 - ・吉野町認定こども園の特色ある教育及び保育の内容（案）
 - ・諸費・制服・教材・園名等の検討（案）
- 保護者意見交換会等について（報告）
 - ・吉野町認定こども園の今後のあり方検討に関する保護者意見交換会
令和5年6月22日（木）
 - ・こども園部会（吉野町認定こども園のあり方の具体的な方策検討部会）保護者意見交換会
令和5年7月14日（木）

第6回 教育振興審議会 令和5年8月25日（金）

- 吉野町認定こども園の具体的な方策（案）について

こども園部会（吉野町教育振興審議会専門部会）

第1回こども園部会

日時・会場 令和5年5月18日（木）15：00～ 於：よしのこども園

内容 ○吉野町認定こども園の将来的なあり方教育・保育内容の検討

- ・吉野町認定こども園の教育及び保育理念
- ・教育及び保育の目標の策定
- ・目指すこども像 こども園像の検討

第2回こども園部会

日時・会場 令和5年6月1日（木）15：00～於：よしのこども園

内容 ○吉野町認定こども園の将来的なあり方教育・保育内容の検討

- ・前回の検討内容について再検討
- ・吉野町認定こども園の特色ある教育・保育内容

第3回こども園部会

日時・会場 令和5年6月15日（木）15：30～於：よしのこども園

内容 ○吉野町認定こども園の将来的なあり方教育・保育内容の検討

- ・諸費・教材費・制服等の検討及びすり合わせ

こども園部会（吉野町立認定こども園のあり方の具体的な方策検討部会）への保護者参加

日時・会場 令和5年7月14日（金）14：30～於：よしのこども園

内容 ○こども園専門部会進捗状況

○保護者アンケート中間報告

○吉野町認定こども園のあり方について保護者意見交換

第4回こども園部会

日時・会場 令和5年9月26日（火）15：30～於：よしのこども園

内容 ○吉野町認定こども園の具体的な教育・保育内容の検討

- ・制服・園旗・備品について
- ・交流会等今後の行事について

こども園部会・育友会合同会議

日時・会場 令和5年9月27日（水）19：00～於：吉野町中央公民館

内容 ○吉野町認定こども園の具体的な教育・保育内容の検討

- ・制服について
- ・育友会組織・行事について

保護者説明会・意見交換会等

吉野町立認定こども園のあり方保護者説明会

日時・会場 令和5年 5月 2日(火) 10:30～ 於:わかばこども園

令和5年 5月13日(土) 10:15～於:よしのこども園

内容 ○吉野町認定こども園のあり方答申について

○令和5年度の取り組みの方向性

○質疑応答

吉野町認定こども園のあり方保護者意見交換会

日時・会場 令和5年 6月22日(木) 19:00～於:吉野町中央公民館

内容 ○こども園専門部会進捗状況

○保護者アンケート中間報告

○吉野町認定こども園のあり方について保護者意見交換

こども園部会(吉野町立認定こども園のあり方の具体的な方策検討部会)への保護者参加

日時・会場 令和5年 7月14日(金) 14:30～於:よしのこども園

内容 ○こども園専門部会進捗状況

○保護者アンケート中間報告

○吉野町認定こども園のあり方について保護者意見交換

第5回吉野町教育振興審議会の審議結果報告会開催について

日時・会場 令和5年 8月 9日(水) 10:00～於:わかばこども園

内容 ○第5回吉野町教育振興審議会に審議内容報告

○質疑応答

吉野町立認定こども園の具体的な方策保護者説明会

日時・会場 令和5年10月10日(火) 14:30～於:わかばこども園

19:00～於:よしのこども園

内容 ○吉野町立認定こども園の具体的な方策について